

2023年6月2日
公益財団法人イオン環境財団
AEON CO. (M) BHD.

**生態系の回復を目指して地域の皆さまと12,000本を植樹
5月20日（土）21日（日）「マレーシア・ビドー植樹」を実施**



公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也 イオン株式会社取締役代表執行役会長以下 当財団）とAEON CO. (M) BHD.（イオンマレーシア）は、5月20日（土）21日（日）、マレーシアのペラ州ビドーにおいて第1回「第3期マレーシア・ビドー植樹」を実施しました。

イオンの植樹活動は1991年にマレーシアにて地域のお客さまとともに植樹することから始まりました。以来、アジアを中心に世界各地で植樹を行っています。

今回の植樹地はスズ鉱山の跡地であり、本植樹は生態系の回復と閉山後の荒廃した地域における森の再生を目指して実施するものです。本年はボランティア1200名とともに地域に自生する多様な樹木12,000本を植えました。2014年からこれまでに、延べ3,200名が参加し、「日本・マレーシア友好の森（22.75ヘクタール）」への累計植樹本数は30,000本になりました。

当財団は、今後も、いのちあふれる美しい自然を次代に引き継ぐため、植樹活動をはじめとする環境活動に積極的に取り組んでまいります。

記

日 時：2023年5月20日（土）・21日（日） 9時30分～10時30分

場 所：マレーシア ペラ州ビドー

植樹面積：7.5ha

植樹本数：12,000本

参加人数：1,200名

主 催：公益財団法人イオン環境財団、AEON CO. (M) BHD

協 力：マレーシア森林協会、国内取引消費者省、水・国土・天然資源省、ペラ州政府

以 上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社 名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、１９９０年に設立されました。

以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに、「植樹（イオンの森づくり）」「環境活動助成」「環境教育」「パートナーシップ」の４つの事業を中心に環境保全に取り組んでおり現在は持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでおります。

【植樹活動】

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。

当財団の植樹を含むイオン全体の植樹の累計本数は、１９９１年のスタートから数えて約１，２５５万本（２０２３年２月末時点）となります。

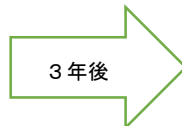
【マレーシアにおけるイオン環境財団の取り組み】

【２００４年、２００８年、２００９年 マレーシア植樹パヤインダウエットランド】

２００４年にジャヤジャスコ（現イオンマレーシア）の設立２０周年を記念し、クアラルンプール郊外ウエットランド自然保護区にて３０，０００本の植樹を行いました。また２００８年、２００９年にも同地区にて植樹を行い、累計植樹本数は５４，８００本となりました。



２００４年
マレーシア植樹（パヤインダウエットランド）



２００７年
マレーシア植樹（パヤインダウエットランド）

【２００４年、２００８年 マレーシア「オランウータンの森」ボルネオ植樹】

ボルネオ島キナバタンガン川流域の木材伐採とパームヤシ造成で荒廃した自然林を、オランウータンなどの野生動物保護のために、森の再生を目指し、日本とマレーシアのボランティアの皆さまとともに８００本を植樹しました。



２００４年マレーシア ボルネオ植樹

〔2014年 第1期マレーシア・ビドー植樹〕

ペラ州ビドーでは、生態系の回復と緑あふれる森の再生を目指し、日本とマレーシアのボランティア合計1,000人の皆さまとともに地域に自生する木々30種8,000本を植樹しました。



2014年マレーシア・ビドー植樹

〔2019年 第2期マレーシア・ビドー植樹〕

生態系の回復と緑あふれる森の再生を目指し、日本とマレーシアのボランティア合計1,000人の皆さまとともに、地域に自生する木々35種10,000本を植樹しました。



2019年マレーシア・ビドー植樹

■環境教育

〔アジア学生交流環境フォーラム〕

グローバルなステージで活躍する環境分野の人材育成を目的として、アジア各国の大学生が集い、各国の自然環境や価値観の違いを学びながら地球環境について国境を越えて討議をする、「アジア学生交流環境フォーラム」を2012年より実施しています。第7回はマレーシアのマラヤ大学で開催し、プログラムの一環として、クアラ・セランゴールにて500本の植樹も行いました。



第7回ASEP開講式（マラヤ大学内）

■パートナーシップ

〔生物多様性アワード国際賞「みどり賞」〕

生物多様性の保全と持続可能な利用の推進を目的として、「生物多様性みどり賞（国際賞）」と「生物多様性日本アワード（国内賞）」の2つのアワードを創設し、隔年で顕著な環境保全活動が認められる個人・団体を顕彰してきました。2018年度に開催した第5回「生物多様性みどり賞（国際賞）」では、前マレーシア首相付科学顧問のアブドゥル・ハミド・ザクリ氏が受賞されました。



第5回「生物多様性みどり賞」授賞式